

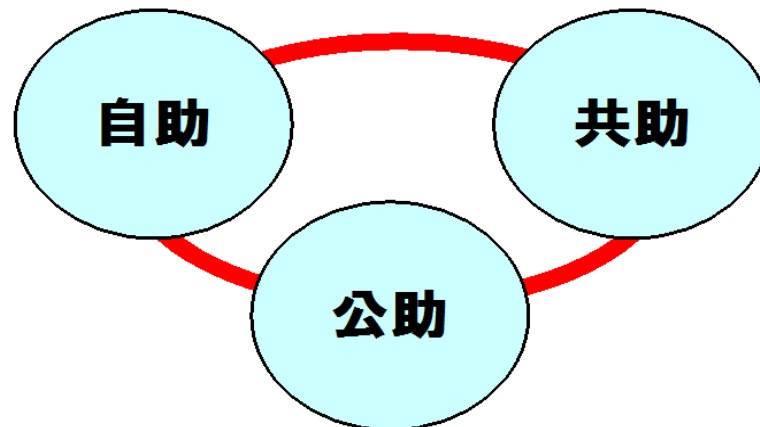
# 自助・共助の備え

～事前に私たちができること～

# 自助・共助・公助の連携

- **自助**・・・自分や家族の命と財産を守るために自身で備える。
- **共助**・・・地域社会の被害を減らすために地域が一丸となって助け合う。
- **公助**・・・行政が担う総合的な防災対策。

災害に強い社会は  
3つの「助」が互いに  
補い支え合う



3つの「助」が最適  
に機能することが  
被害を減らす

**避難先を確認しておく  
（自助）**

# みなさんにできることは？（自助）

## 「減災」のための家族 会議をしましょう！

一番大切なことは、日頃の備えです。  
日頃から減災について考え、家族でよく話し合い、  
いざというときのために備えをしておきましょう。

食料や飲料水、薬、  
最低限 3 日分を目安

防災訓練への参加



家族との連絡方法について

- 「災害用伝言ダイヤル 171」
- 携帯電話の「災害用伝言板」



自分の住んでいる地域の震災時避難場所の確認

- 家族全員で安全な経路を確認しながら、実際に歩こう



## 地域の避難所を 確認しておこう。

災害時は避難所まで  
誰も誘導してくれません。

# みなさんにできることは？（自助）

## 避難場所・避難所までのルート，安全ですか？

普段通り慣れている家の周りの道でも，災害時には安全に通れるとは限りません。あらかじめルートを確認しておきましょう。



- ⚠️ 落ちてきそうなものはないか
- ⚠️ 時間はどのくらいかかるか
- ⚠️ 倒れそうなものはないか
- ⚠️ 街灯はあるか（夜間の場合に備えて）
- ⚠️ 道をふさぎそうなものはないか
- ⚠️ 崖などはないか
- ⚠️ 坂道や階段はないか
- ⚠️ 川や水路はないか



# 大雨や台風のときの避難所について

- **自主避難所**

**事前の避難を希望する人を対象に開設する避難所**

**場所:主に市内20カ所の近隣センター**

- **指定避難所**

**市が避難を呼びかけるときに開設する避難所**

**場所:状況に応じて、避難所開設数や場所を決定**

**(市内の近隣センター, 市内の小中学校など)**

**※ 当初, 各近隣センターを主として開設し, 各学校等へ拡大して行く**

# 避難所における感染症対策

- **体温計，マスク，消毒液の配備**
- **家族間の距離をとる**
- **間仕切りの活用**

～ お願い ～

- **マスクや除菌シートなどの持参をお願いします。**
- **安全な場所に住んでいる親戚や知人宅へ行くことも考えておきましょう。**

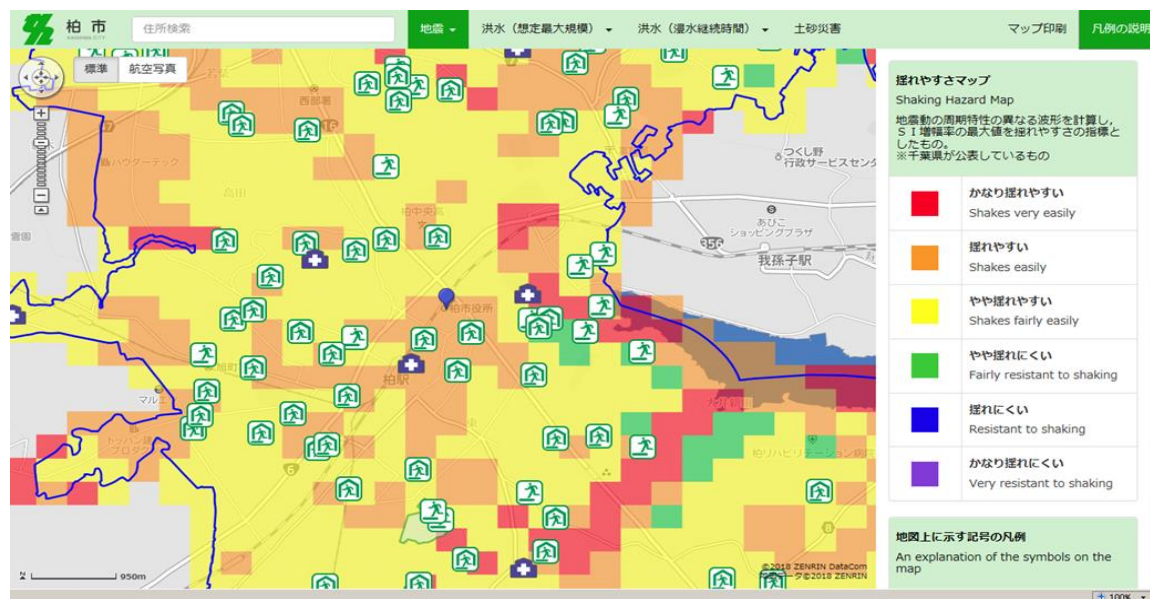
正しい情報を得る  
(自助)



# 地域のハザード情報を確認する

## ○柏市web版防災・ハザードマップ

<http://www.city.kashiwa.lg.jp/soshiki/030500/p045760.html>



下のボタンをクリック



○地区別防災マップ <http://www.city.kashiwa.lg.jp/soshiki/030500/p038085.html>

○柏市洪水ハザードマップ <http://www.city.kashiwa.lg.jp/soshiki/030500/p004260.html>

# 地域のハザード情報を確認する

## ○地域別防災カルテ

<http://www.city.kashiwa.lg.jp/soshiki/030500/p049921.html>



<h3>柏市地域別防災カルテ 柏中央地域 (地域番号:7)</h3> <p>このカルテは、柏市で想定される各種災害に対する地域別のリスクを把握し、家庭での備え(自助)、地域での備え(共助)を促進することを目的として、平成30年度柏市防災アセスメント調査の結果を踏まえ、20のコミュニティエリアを単位としてとりまとめたものです。 大災害を想定した調査であり、厳しい被害予測も示されていますが、避難施設などのプラス面もあわせて行政と皆さまとで情報を共有し、防災・減災を共に実現したいと考えています。ぜひ、ご活用ください。 ※調査結果は最終報告書に基づいており、実際の災害で地域が異なることとなりますのでご注意ください。 以下に、それぞれの様式の使い方や内容を示します。</p>	
<h4>様式2 地域の概況</h4> <p>地域の基本情報として、以下の内容を記載しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●このカルテで対象とする町名(住所)</li> <li>●地域の地形や交通の状況</li> <li>●人口 ●世帯数 ●面積 ●建物</li> <li>●避難施設の一覧、災害の種類に応じた利用可否、収容人数</li> </ul>	
<h4>様式3 防災関連施設マップ</h4> <p>様式2で確認した避難施設の場所がどこにあるのか、どの道を通って避難すればよいのか、などを考える際に活用ください。 災害が発生した時に助けとなる施設(応急給水所など)の位置も、併せて確認しておきましょう。 ※福祉施設と保育施設の一覧表は、別表で示しています。</p>	
<h4>様式4 想定震度マップ</h4> <p>柏市直下地震を想定した場合の、地域内の震度分布を示しています。 自宅や勤め先、学校などの震度を確認し、様式3の防災関連施設マップと併せて、避難する場所や、助けとなる場所へのルートを考えてみましょう。</p>	
<p>平成31年3月作成 問合せ先：柏市 防災安全課 (04-7167-1115)</p>	

カルテの内容は、柏市ホームページ (<http://www.city.kashiwa.lg.jp/>) にも掲載しています。ご覧ください。

<h4>様式5 液状化危険度マップ</h4> <p>柏市直下地震による揺れを想定した場合に、液状化現象が発生する可能性がある地点と、その可能性の大小を示しています。 水を多く含んだゆるい砂地盤(川や水路の周囲や田畑など)に注意しましょう。 ※液状化が発生する可能性が低い地域もあります。</p>	
<h4>様式6 倒壊・延焼危険性マップ</h4> <p>柏市直下地震によって建物が倒れて(全壊して)しまう割合、火事の発生により焼失してしまう建物の割合を示しています。</p>	
<h4>様式7 水害・土砂災害マップ</h4> <p>2種類の浸水による被害予想を示しています。 ①川の水があふれることによる洪水 ②雨水が溜まってしまったことによる内水被害 がけ崩れなど、土砂災害の危険性がある区域についても示しています。</p>	
<h4>様式8 地域の評価</h4> <p>地震や水害による各種被害(建物倒壊や負傷者、避難者など)の数を示しています。 また、災害について知っていただきたい知識も、併せて掲載しています。 情報を基に、お住まいの地域がどのような被害を、どの程度受けるのか確認し、家庭内の防災に向けた取り組みや、地域の方々の防災活動のきっかけとして活用してください。</p>	

地域名：柏中央 地域番号：7 想定震度マップ

この地図の作成にあたっては、1:115,000縮尺の都市計画基本図および国土数値情報(国土交通省)のほか、国土情報院の提供を受けて、図解実行の基礎加工処理を使用した。(測図番号 平30測図 第1381号)

# 避難情報 と 警戒レベル

■ 市区町村が出す警戒レベルで確実に避難しましょう  
 気象庁などから出る河川水位や雨の情報を参考に自主的に  
 早めの避難をしましょう

市が出す避難情報は、対象地域は地区ごとに出します。

名称：警戒レベル 発信者：市区町村等 内容：避難情報		
警戒レベル	住民がとるべき行動	避難情報等
5	命を守る最善の行動	災害発生情報
4	危険な場所から 全員避難	避難勧告 (避難指示(緊急))
3	危険な場所から 高齢者などは避難	避難準備・ 高齢者等避難開始
2	ハザードマップ等で 避難方法を確認	大雨注意報 洪水注意報
1	最新情報に注意	早期注意情報

名称：警戒レベル相当情報 発信者：気象庁や都道府県等 内容：河川水位や雨の情報		
防災気象情報(警戒レベル相当情報)		
	浸水の情報(河川)	土砂災害の情報(雨)
5相当	氾濫発生情報	大雨特別警報 (土砂災害)
4相当	氾濫危険情報	土砂災害警戒情報
3相当	氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報
2相当	氾濫注意情報	—
1相当	—	—

※「避難勧告等に関するガイドライン」の趣旨を変えずに、より分かりやすい表現にしています。

市区町村長は、警戒レベル相当情報(河川や雨の情報)のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に警戒レベル(避難情報)の発令判断をすることから、警戒レベルと警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

# 避難情報が出ているか確認するには？ 開設している避難所を確認するには？

・ かしわメール配信サービス

・ Yahoo!防災速報アプリ

・ 柏市公式ホームページ

・ テレビのデータ放送 ←リモコンのdボタン

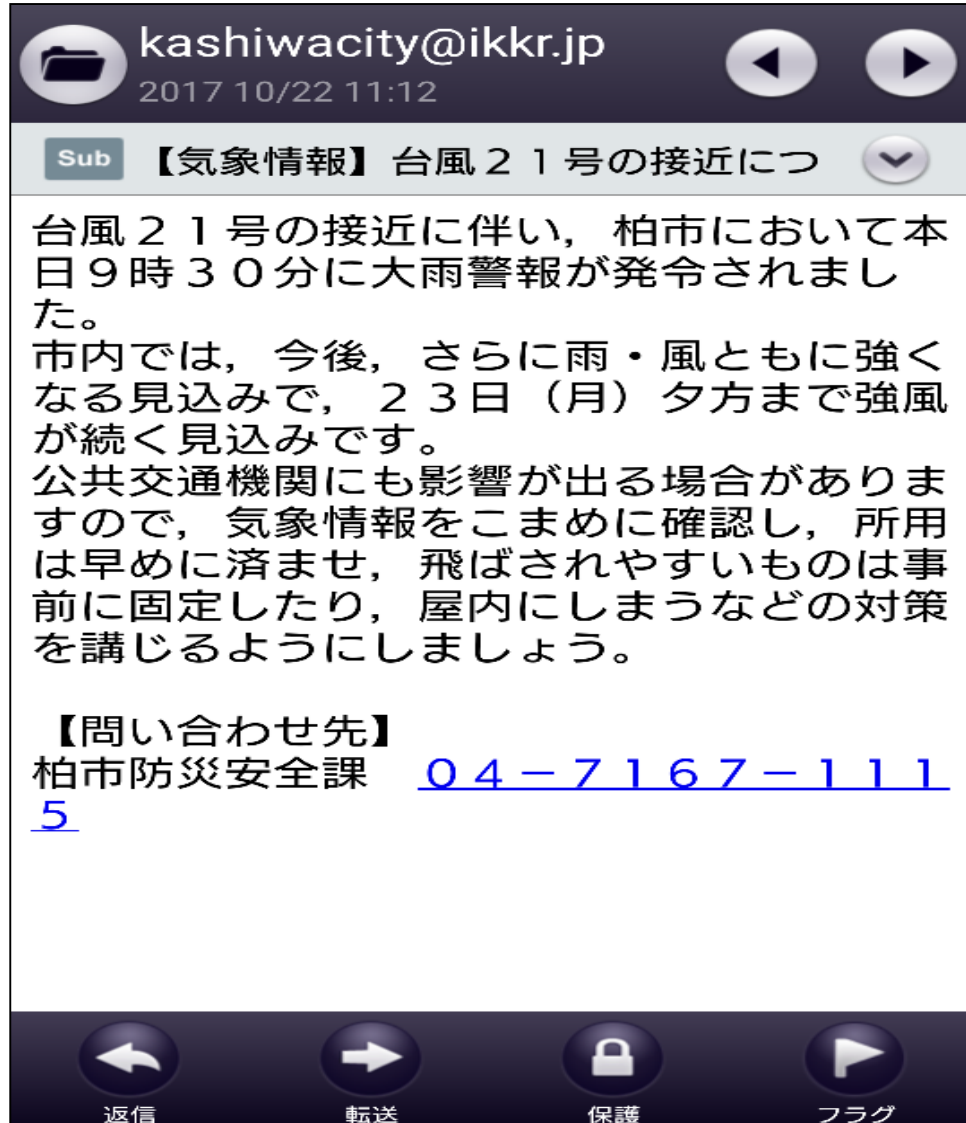
・ 広報車, 防災行政無線※状況により



〈登録方法(かしわメール配信サービス)〉  
左のQRコードを読み取るか,  
「[kashiwacity@emp.ikkr.jp](mailto:kashiwacity@emp.ikkr.jp)」に  
空メールを送る



# 正しい情報を得る (メール配信サービス)



## 柏市からのメール配信回数 合計 31 回配信

- 9月9日 台風15号  
: 7回
- 10月12日 台風19号  
: 17回
- 10月25日 大雨  
: 7回

# 正しい情報を得る（Yahoo!防災速報）



## ○取り組み○

### ○Yahoo!防災速報アプリ



今すぐアプリをダウンロード!

iPhone 版



Android 版



○その他

国管理河川における洪水情報の緊急速報メール配信

大雨，豪雨，土砂災害，河川洪水，気象警報，地震，自治体からの緊急情報，避難所等これひとつで，1度の登録であらゆる災害情報をキャッチできます。

# 防災行政無線（パンザマスト）

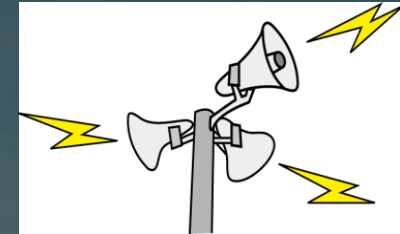
防災行政無線  
（パンザマスト）

190箇所

関係機関等との無線

465箇所

市役所出先機関・公用車，災害拠点病院，警察・消防，  
協力機関等



**フリーダイヤル 0120-280-131**

**家族との連絡方法  
備蓄品を確認しておく  
（自助＆共助）**



# 家族との連絡方法を確認

## 「減災」のための家族 会議をしましょう！

一番大切なことは、日頃の備えです。  
日頃から減災について考え、家族でよく話し合い、  
いざというときのために備えをしておきましょう。

食料や飲料水、薬、  
最低限 3 日分を目安

防災訓練への参加



家族との連絡方法について

- 「災害用伝言ダイヤル 171」
- 携帯電話の「災害用伝言板」



自分の住んでいる地域の震  
災時避難場所の確認

- 家族全員で安全な経路を確認しながら、実際に歩こう



## 家族との連絡方法を 確認しておこう。

災害時，携帯電話は  
発信制限がかかり、  
使うことが出来ません。

# 家族との連絡方法を確認

## 「減災」のための家族 会議をしましょう！

一番大切なことは、日頃の備えです。  
日頃から減災について考え、家族でよく話し合い、  
いざというときのために備えをしておきましょう。

食料や飲料水、薬、  
最低限の日用品を日頃

防災訓練への参加



家族との連絡方法について

●「災害用伝言ダイヤル 171」

●携帯電話の  
「伝言板」



自分の住んでいる地域の震  
災時避難場所の確認

●家族全員で安全な経路を確認  
しながら、実際に歩こう



### 災害用伝言ダイヤル 「171」

被災者が安否メッセージを「登録」  
し、それを一方が「聞く」という  
「声の伝言板」です。

1 伝言あたり 30 秒以内

#### 体験利用

- 毎月 1・15 日
- 正月三が日
- 防災週間（8月30日～9月5日）
- 防災とボランティア週間（1月15日～21日）

ご利用方法

1 171 にダイヤル

音声ガイダンスによるご案内

2 録音は 1、再生は 2 をプッシュ

音声  
ガイダンス  
によるご案内

「被災地の方はご自宅の電話  
番号を、被災地域以外の方は、  
被災地の方の電話番号を市外  
局番からダイヤルして下さい。」

3 市外局番 市内局番 お客様番号

0 X X - X X X - X X X X  
をプッシュ

4 ガイダンスに従い録音または再生

# 備蓄をする

## 「減災」のための家族 会議をしましょう！

一番大切なことは、日頃の備えです。  
日頃から減災について考え、家族でよく話し合い、  
いざというときのために備えをしておきましょう。

食料や飲料水、薬、  
最低限 3 日分を目安



防災訓練への参加



家族との連絡方法について

- 「災害用伝言ダイヤル 171」
- 携帯電話の「災害用伝言板」



家の中は

- 家屋の耐震性
- 家具の転倒を防ぐ



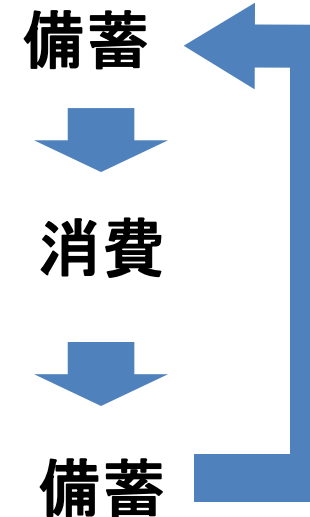
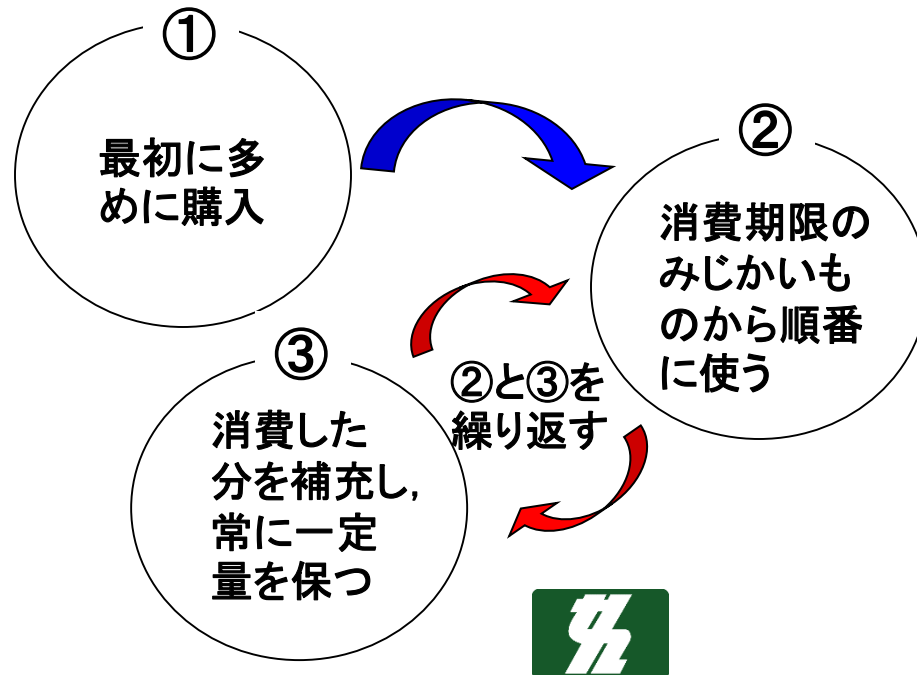
**最低限3日分の  
食糧・水を備蓄しよう。**



私たちが出来ることは。

# 「ローリングストック法」

- ・ 災害用の保存食だけを大量に用意することが備蓄の手法ではありません。
- ・ 缶詰やレトルト食品など普段利用している食品を多めに購入しておいて、消費したらその分補充し常に一定量の食品を自宅に備蓄することができます。⇒「ローリングストック(回転備蓄)法」
- ・ 消費期限切れや保管スペースなどの問題を解消し、いざというときに役立つ一石二鳥の方法です。



# 備蓄品と非常持ち出し品の例

- 現金, 貴重品
- 懐中電灯
- 携帯電話
- 飲料水, 食糧      ※飲料水の目安・・・ 1人1日3リットル
- 衣類
- 日用品
- 常備薬
- 感染症対策用品(マスク, 除菌シートなど)

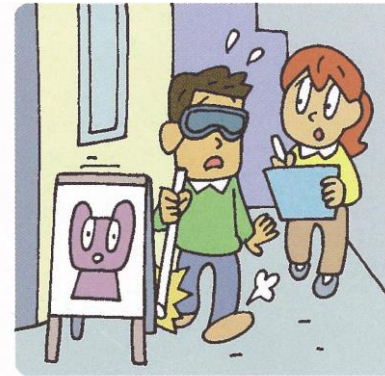
# 助け合い（共助）

# 『要配慮者』を災害から守る

日頃から交流を密にする



災害時要配慮者の身になって防災環境を点検する



困ったときこそ温かい気持ちで接する



災害時要配慮者と一緒に防災訓練を行う



# 防災の心構え

1. 災害にあわないという「思い込みを捨てる」。
2. 「自分たちが守る」という自覚を持つ。
3. 災害時に、「協力し合う」。

～日ごろから顔の見える関係づくり～



ご視聴いただき  
ありがとうございました。

**We**  **Kashiwa**